

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2019年 1月 15日

## 「事務業務体制の見直しについて」に関する申し入れ【団体交渉】③

(8項)「現業事務センター(仮称)」への問い合わせや申請方法について具体的に明らかにすること。

(回答)各種申請等については、社員自ら総務部総務課現業事務センター(仮称)に対して行うことになる。

### 【主な議論】

- ・電話での問い合わせと直接行って確認もできる。
- ・手当関係の7月確認は現場で行う。(行わなければならないもの)
- ・2月1日～使用できるようにしたいが、専用サイト開設予定。(Joi-Net等の環境整備)
- ・巡回を行いながら、現業事務センター(仮称)で対応する。

### 【各技術センターにおける系統事務集約について】

(9項)「設備部門における事務業務体制の見直し」の成果と課題を明らかにすること。

(回答)世代交代が進む各技術センターにおいては、企画部門との連携を深める事で、より効率的な業務を推進しているところである。今後も、業務の専門性を高め、より効率的で生産性の高い業務執行体制を構築していく考えである。

### 【主な議論】

- ・平成25年9月から「設備門における事務業務体制の見直し」を実施してきた。成果とすると会計箇所・コピーカウンター数・巡回用具等、集約することによる減少を図ることができた。課題とすれば用具契約・資材・設計協議に関して、特に若手育成の進捗が課題であると認識しているので、今施策で更に実効あるものとしたい。

(10項)「設備総務G」と各郡山、仙台、山形の具体的要員体制を明確にすること。

(回答)業務に必要な要員は確保していく考えである。

### 【主な議論】

- ・目安として、郡山10名、仙台11名、山形2名。
- ・育成プランの基本的な考えは、社採の方が支社設備部総務Gで全体を学んで、各設備総務Gに行って業務にあたる。(鉄道会計法は同じなので、他社で設計協議経験者などいれば、最初から配属もある)
- ・研修はない。(スキルアップ・勉強として、全体会議や勉強会は行う)
- ・契約社員の導入は今のところ考えていない。
- ・(今施策により)単身赴任や遠距離通勤の解消はしたい。(各地区間移動はある)  
…将来的には事務系統と技術系統の垣根は無くなる考え。…

(11項)「設備総務G」と各郡山、仙台、山形の具体的業務内容を明らかにすること。

(回答)設備部企画課総務G(郡山、仙台、山形)では、各箇所での契約・資材・設計協議等にかかわる業務を行い、設備部企画課設備総務Gについては、設備総務G(郡山、仙台、山形)の総括的な役割を行う。

### 【主な議論】

- ・設備部企画課設備総務Gでは、各地区のリカバリー、支援体制、コンプライアンス関係の牽制、育成プランの策定、08関係支払いの集約を行う。・担当者は明確にし、現場長依頼は対応できる限り行う。
- ・フローは作成し、現場で見ることが出来る、この間通り、見直しは行っていく。・定例巡回行う。…